



一隅を照らそう
4月号

3 5 1号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



祖師先徳鑽仰大法会が総結願 ―大事の因縁

住職 中島 有淳

天台宗で平成24年(二〇一三)からおよそ11ヶ年をかけて行われてきた「祖師先徳鑽仰大法会」。日本天台宗の宗祖・伝教大師最澄をはじめ、日本仏教の礎を築いた祖師先徳の偉業を仰ぎ尊ぶ11年に及んだ特別期間が、去る三月十六日に総結願致しました。この日は比叡山延暦寺にて午前10時半より大樹孝啓天台座主御導師のもと根本中堂にて四箇法要。午後にも山内の諸堂で法要が営まれ、全国から二百五十名の僧侶が参集し、私も久しぶりに登壇しました。

この11年の間には、

- ・慈覚大師 一千五十年御遠忌
- ・恵心僧都 一千御遠忌
- ・宗祖伝教大師 御生誕一千二百五十年
- ・相応和尚 一千百年御遠忌
- ・伝教大師 一千二百年大遠忌

など節目が続き、これに合わせて国宝・根本中堂の大改修が平成28年より始まり、現在も継続中です。

私が宗の内局として勤めていた当時、力を注いでいたのがこの一連の「大法会事業」であり、仲間と「根本中堂の大改修が終わる頃にはお互い生きていけるかな」などと笑い合ったものです。誰にでも等しく時間は経ち、今回もつめてこの11年が大円成と相成りました。

結願法要の後、大法会の阿部昌宏(宗務総長)局長はこの間の総括として「大震災、コロナ禍、少子高齢化、気候変動、戦争と10年先が全く見通せない時代。我々は伝教大師の末弟として、不滅の法灯を点し続けていかねばならない」といった趣旨で挨拶。

十年一昔、また光陰矢の如しなどと言いますが、もう10年も経ったのかという気持ちと、この10年の間に色々な事があつたなという思いが交互に去来しました。

われわれは過去から受け渡されたリレーのたすきを、確実に未来へと繋いでいく役目があります。先人の遺徳を鑽仰することは、それを鏡として自分自身がしっかりやれているかどうかです。

「我が志を述べよ」(伝教大師)との言葉を身体にすり込み「道心」を日頃の座右の銘とし、自身が担い手であるという自覚が必要なのです。

インターネットで調べればすぐに答えが解る時代です。しかし、検索できるのは情報化されたものだけです。本当に知りたいこと、大事なことは「私達は何故生かされているのか」つまり「何をたよりに生きていくか」という生死の『一大事の因縁』は、インターネットで検索しても出てきません。お釈迦さまがこの世に出現されたのは「開示悟入」であり、私達を仏道に入らせるためであります。これは一生では足りないかもしれせん。ですから輪廻があるのでしょう。

混迷の時代にはますます宗教、仏教が必要とされているのです。

月例行事案内

- ◎八日 午後二時 薬師如来祈祷会・花まつり
 - ◎十二日 午後二時 智泉院法要日(於・日本橋茅場町)
 - ◎十八日 午後二時 観音経読誦法要(於・神木観音堂)
 - ◎四月二十八日 午後二時 祈願成就 七難即滅 七福即生 大般若経転読大護摩
- * 毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ
- それぞれの行事で御札を授与いたします 郵送も受付けております



折りふしのはな
なしの花
今 桜が満開ですが
白い梨の花も
とても きれいです
長十郎梨の
ふるさと川崎市
今年も
おいしい梨が
実りますように (遊)

○花まつり奉納 演奏舞

お釈迦さまのお誕生日にあわせ
インド音楽と舞が奉納されます。

シタール/田中悠字吾
舞/石井則仁(山海塾)

日時: 4月8日(土) 法要後15時頃~
費用: 無料(演者への心づけは歓迎)

○古武術に学ぶ身体操法④

NIKK講座でも話題

日時: 4月22日(土) 13~17時
講師: 山口潤 先生
費用: 8,000円(副住職まで)

<花説法> 11時~15分程
つつじの満開時期、毎回異なる
テーマで法話を。聴聞歓迎。
4月16(日)、18(火)、20(木)、22(土)、
23(日)、24(月)、26(水)。雨天翌日。

□4/15(土) 月例(※要事前申込)

- ・「止観(坐禅)会」9:30-10:30(定員20名・500円)
- ・「2年かけて『法華経』を読む会」11:00-12:00(12名・300円)

あとがき

○岸田首相が訪印の直後ウクライナに入り、ゼレンスキー大統領と会谈。五月の広島での主要七ヶ国首脳会議を控え、世界へアピールか。大統領もオンラインでの参加を承諾と。

○野球の第五回WBC(地域別対抗戦)で「侍ジャパン」がアメリカを破り、劇的に優勝。MVPには投打「二刀流」で活躍した大谷翔平選手が。凄いいものを見せてもらいました。

○和平や戦争にもたらされた情報をどう分析し、評価し、判断、理解したらよいか。「情報」という言葉と信頼は国のあり方も左右する重大事です。飛び交う情報に誹謗中傷、デマも混ざり真偽が不明で不透明でやりきれません。

○福島県相馬市にて「東日本大震災十三回忌慰霊行脚」(全日本仏教青年会主催)に参加。報告を当山のホームページ「note」(ノート)で公開しています。(副住職)

○本年も「つつじシーズン」が到来。感染症対策も緩和され、今年には多くの方の参拝を期待します。道路が狭く駐車場も僅かにつき、上手にご利用下さい。